# 川崎市みどりの将来像（案）について

## とりまとめの背景

市制100周年の象徴的事業として開催した全国都市緑化かわさきフェアの閉会式において、終わりではなく次の100年への始まりとして、「みどりのKAWASAKI宣言」により、持続可能なよりよい社会の実現を目指す中で、ともに暮らし、働き、学ぶすべての人とともに、つながりの輪をさらに広げ新たなステージへと歩みを進めていくことを宣言しました。

宣言で目指すこととしている「人と自然が共生する幸福な社会」の実現に向けて、ネイチャーポジティブ（自然再興）などの地球環境に関する世界的な潮流、気候変動などの社会環境の変化などに対して、これまで以上に高い意識を持って、目標とすべき「川崎市みどりの将来像（案）」をとりまとめました。

令和7年12月1日から令和8年1月5日までパブリックコメント（意見募集）を実施し、いただきました意見を踏まえ、川崎市みどりの将来像を策定します。（令和8年3月策定予定）

詳細は、こちらに掲載

# 川崎市みどりの将来像（案）概要

## 1　みどりの将来像

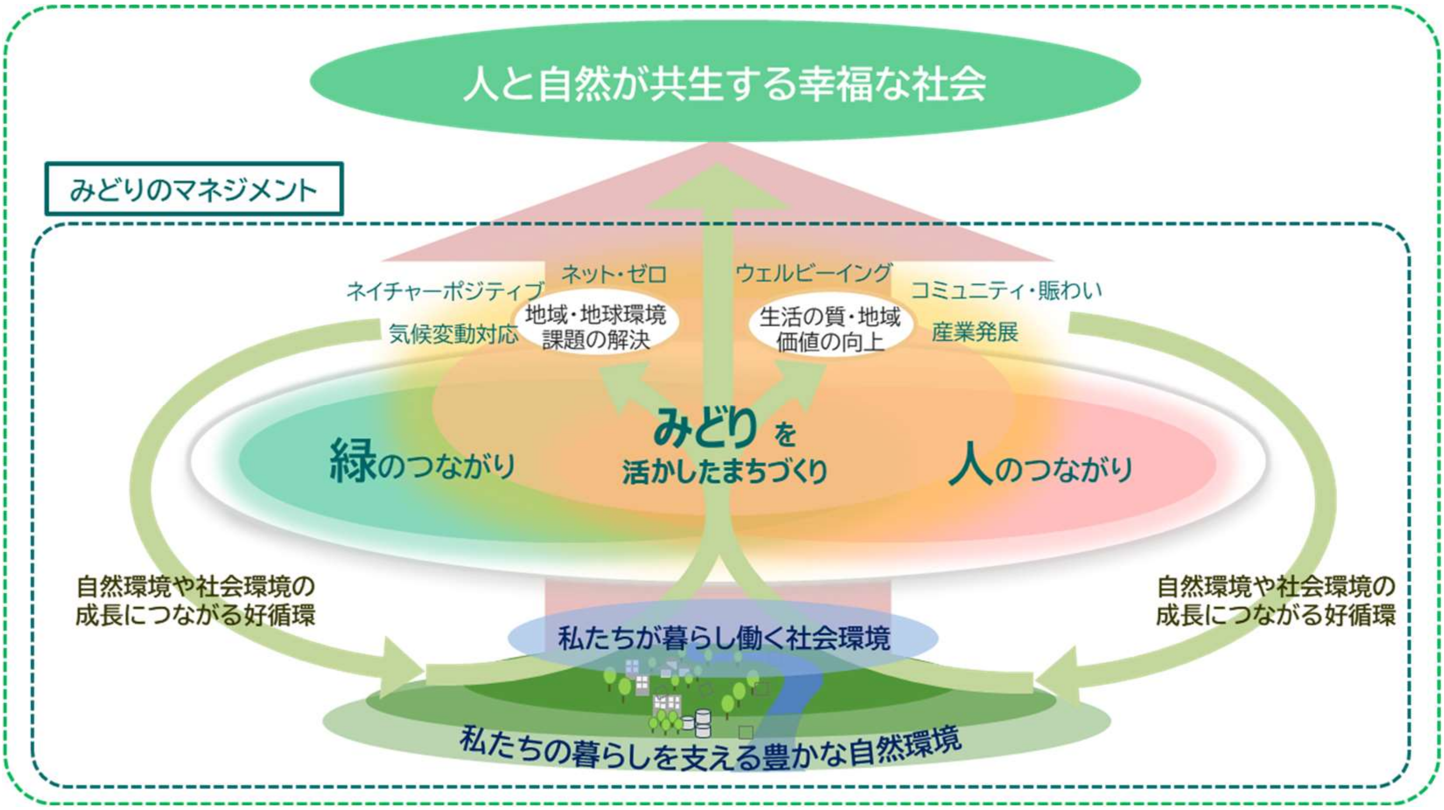
**第1章では、みどりの将来像及びその基本的な考え方をまとめています。**

### （1）みどりの将来像の基本的な考え方

「緑のつながり」、緑を通じた「人のつながり」を広げていくとともに、緑と人が関わり、みどりの多様な機能や効果の活用、新たなみどりの価値の創出により、生活の質や地域価値の向上、地域・地球環境課題の解決を図っていく、「みどりを活かしたまちづくり」を進めていきます。

この3つの柱が成長することにより、人と自然が共生する幸福な社会を実現していきます。それぞれの柱の成長を「私たちの暮らしを支える豊かな自然環境」や「私たちが暮らし働く社会環境」の成長にもつなげることにより、自然と都市が共に成長する持続可能な好循環を生み出していきます。

3つの柱の成長と好循環を持続させるためには、市に関わる多様な主体が自主的に参画し、主体的に取り組むことが必要であり、市全域において総合的に取組を推進し、発展させていくための仕組み（みどりのマネジメント）づくりが重要となります。



## (2)みどりの将来像

### コンセプト

「緑のつながり」「人のつながり」「みどりを活かしたまちづくり」からみんなで好循環を生み出し、自然と都市が成長し続ける川崎を目指します。

### コンセプトワード

**"KAWASAKI NATURE LOOP"**
～みどりで、つなげる。みんなが、つながる。～

### 2050(令和32)年の目指す姿

多摩丘陵や多摩川からまちなかへと、市全域が緑でつながっています
緑のまとまりやつながりによって、多様な生き物が生息し、触れ合える環境が創出されています
緑を通じて、市民や団体、企業や学校など、さまざまな人のつながりが広がっています
緑と人が関わり、自然と人が調和し、みどりを活かしたまちづくりが展開されています
みどりが持つポテンシャルを最大限に引き出し、好循環により自然と都市が共に成長し続けています
人と自然が共生する幸福な社会が実現しています

### みどりの将来像イメージ図

## (3)「みどりの将来像」の位置づけ

**「みどりの将来像」は、緑の基本計画をはじめとする関連計画の上位概念**として位置づけ、総合計画と整合を図りながら、各関連計画は「みどりの将来像」を踏まえて策定されることが必要としています。
また、将来像の実現に向けた取組にあたっては、各関連計画と整合を図りながら、一体的に推進するとともに、分野横断的に多様な主体と連携しながら取り組むことが重要です。

## 2　取組の方向性

第2章では、3つの柱についてそれぞれ、具体的な取組の方向性をまとめています。

**■「緑のつながり」取組の方向性**

これまで保全に取り組んできた多摩丘陵の豊かな自然や、市を縦断する多摩川の水辺環境を軸に、まちなかへと緑のつながりを広げていき、ネイチャーポジティブを推進し、市全域で生態系ネットワークを形成していきます。

**■「人のつながり」取組の方向性**

自然環境や公園緑地、オープンスペースでの市民協働による取組や、かわさきフェアを契機として、市民や企業、団体、学校などの多様な主体と緑を通じて生まれた人のつながりをさらに広げていきます。

**■「みどりを活かしたまちづくり」取組の方向性**

緑と人が関わり、自然と人が調和しながら、みどりの多様な機能や効果の活用や新たな価値の創出により、生活の質や地域価値の向上、地域や地球環境における課題解決を図っていく、みどりを活かしたまちづくりを進めていきます。

## 3　取組の推進に向けて

第3章では、取組の推進に向けて、以下の内容をまとめています。

**■みどりのマネジメントによる推進**

3つの柱の**成長と好循環を持続させるため**には、**市民・企業・団体・大学・金融機関など、市に関わる多様な主体が自主的に参画し、主体的に取り組むことが必要**であり、市全域において総合的に取組を推進し、発展させていくための仕組み(みどりのマネジメント)づくりを進めます。

**■将来像の実現に向けた普及啓発、情報発信**

地球環境や緑について学び、体験できる場を創出していくとともに、市民や企業が参加する会議やイベント等の機会を捉えて、みどりを知ってもらい、関わってもらうための積極的な普及啓発、情報発信を行っていきます。